

授業科目名/Course Title	現代ビジネスと起業		
担当者名/Instructor	奥山陸		
授業コード/Registration Code	102101201	開講年度学期/Academic Year, Semester	2024年度前期
開講期・授業区分/Class Category	週間授業	単位数/Credits	2.0単位
年次/Year (※履修しうる最低年次を表示)	2年	ナンバリング/Course Numbering	CAE-A1-5-2-02-1
授業の概要/Course Summary	<ul style="list-style-type: none"> ・日本経済の現状と労働環境について考える。 ・世界的な働き方の潮流を見つめながら、女性のキャリア形成について考える。 ・パンデミックや戦争、自然災害等の影響から世界情勢を俯瞰的に見つめ、あるべき社会について考える。 「実務経験のある教員等による授業科目」対象科目		
授業の方法/Course Approaches or Methods	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・グループセッション 		
授業の方法（アクティブ・ラーニングの種別）/Type of Active Learning	C. ディスカッション、ディベート/D. グループワーク		
学生に対する教員からのフィードバック方法/Ways to Give Feedback to Students	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への質問事項を受け付けるので、それに対してフィードバックを受講生全員に行う。 ・第7回後、第13回後に課題レポートを出し、レポートの①創造性②アカデミックスキル③授業の理解度、また④それまでの出席率（ただし就活中の場合は届を出せば配慮する）を考慮して評価を行う。 		
学位授与方針との関係/Relations with Diploma Policy	JWUキャリア科目DP		
授業の到達目標/Course Goals	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な開発目標（SDGs）とは何かを理解して、さまざまな働き方、生き方について考えるようにできる。 ・就業、起業とは何かを理解し実践までのマイルストーンを描ける。 ・グループセッションの実施によって、共創力への理解と実践につなげることができる。 ・学生時代及び就職後のキャリアパスについて考えることができる。 		
授業計画（半期14項目、通年28項目 回数毎の内容含む）/Course Plan	第1回目 講義オリエンテーション 第2回目 SDGsとは何か（1） 第3回目 SDGsとは何か（2） 第4回目 人口オーナスと産業構造の変化 第5回目 多様な労働形態について考える（正社員、契約社員、派遣社員、パートタイマー、個人事業主、企業経営者など） 第6回目 持続可能なキャリアをWell-Beingの視点で考える 第7回目 女性の活躍推進政策の国際比較 第8回目 組織人から創業者へのキャリアチェンジ/起業目的の明確化・目標設定（1） 第9回目 組織人から創業者へのキャリアチェンジ/起業目的の明確化・目標設定（2） 第10回目 女性起業家実践事例①：クラシックギタリストのOGからのメッセージ 第11回目 女性起業家実践事例②：税理士資格取得までの道のり 第12回目 女性起業家実践事例③：老齢学による事業展開 第13回目 女性起業家実践事例④：ぬいぐるみによるWell-Being構築をテーマにしたスタートアップ起業 第14回目 総括		
授業形態の種類/Type of Teaching Methods	A. 対面授業		
授業形態の種類（詳細）※必ずmanabaも確認すること。	基本的には対面授業。 担当講師が何らかの事情で遠隔にいる場合のみ、B. 同時双方向型遠隔授業（Zoom等利用）とする。		
成績評価の方法/Methods of Evaluation	期末レポート60%、小レポート40%		
授業外学修（準備・事後学習等に必要な時間・具体的な内容）/Prep&Review	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの成立背景について理解しておくこと。 ・DX（デジタルトランスフォーメーション）について調べること。 ・授業外学修時間60時間（週4時間） 		
授業外学修（※参照用）/Prep&Review for reference	授業外学習については以下を確認してください。 https://www3.jwu.ac.jp/fc/public/unvfile/academics/curriculum/tani_gakushu.pdf		

<p>使用テキスト/Text to be used</p>	<p>『SDGsを活かす地域づくり』 白井信雄・大和田順子・奥山 睦（編著）晃洋書房</p> <div style="text-align: right;"><input type="checkbox"/></div>
<p>使用言語/Language</p>	<p>日本語・その他</p>
<p>参考書（参考資料等）/Reference Books</p>	<p>『アカデミック・スキルズ』佐藤 望（著，編集），湯川 武（著），横山 千晶（著），近藤 明彦（著），慶應義塾大学出版会 『ウェルビーイング』前野 隆司・前野マドカ（著），日本経済新聞出版</p>
<p>その他（受講生への要望）/Notes, Message to Students</p>	<p>プリント資料を毎回配布するので、予習・復習をすること。</p>
<p>学位授与方針（※参照）/Diploma Policy</p>	<p>学部 https://www.jwu.ac.jp/unv/about/information/ct6r0e000000afr0-att/syllabus_DP_code_unv.pdf 大学院 https://www.jwu.ac.jp/unv/about/information/ct6r0e000000d6gg-att/syllabus_DP_code_grd.pdf</p>
<p>授業形態の種類について（※入力にあたっての注意事項）</p>	<p>2024年度は原則として対面で授業を行います（一部遠隔授業科目を除く）。 対面授業と遠隔授業（同時双方向型及びオンデマンド専用型）の区分は以下のとおりとする。 対面授業 遠隔授業対象区分以外の全ての授業科目（対面授業に相当する教育効果を有すると認められる場合は、予めシラバスに記載することにより授業回数の1/3まではZoom・manaba等を用いた双方向型遠隔授業とすることができる。） 同時双方向型…対面授業と同様に曜日・時限を設定し教室配当を行う。 Zoom等を用いた同時双方向型遠隔授業科目（対面授業に相当する教育効果を有すると認められる場合は、予めシラバスに記載することにより授業回数の1/3まではmanaba等を用いた双方向型遠隔授業とすることができる。） オンデマンド専用型…オンデマンド専用型曜日・時限を設定し教室配当を行わない。 manaba等を用いた双方向型遠隔授業科目 ・対面で実施しない教養科目（月・火・水・金6時限） ・教養科目以外のオンデマンド科目用に、木4・5時限をオンデマンド専用時間帯として設定する。（教養科目以外は、通常の曜日・時限にもオンデマンド科目を置くことができる。）</p> <p>※ご担当科目の授業形態が不明の場合には、ご担当科目の科目区分責任者にお問い合わせください。</p>
<p>「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表（※参照）</p>	<p>https://www.jwu.ac.jp/unv/academics/curriculum/ct6r0e0000009bmr-att/kyoin_kamoku.pdf</p>